

平成 17 年 1 月 18 日

株式会社三菱東京フィナンシャル・グループ
株 式 会 社 東 京 三 菱 銀 行

「白金 MTFG プラザ」および東京三菱銀行「日吉駅前支店」の開設について

株式会社三菱東京フィナンシャル・グループ（取締役社長 畔柳 信雄、以下 MTFG）は、本年 2 月 16 日（水）、東京都港区白金台に「白金 MTFG プラザ」を開設します。「白金 MTFG プラザ」は、株式会社東京三菱銀行（頭取 畔柳 信雄）が「白金支店」を、三菱信託銀行株式会社（取締役社長 上原 治也）が「信託プラザ白金」をそれぞれ新規に出店してスタートします。

また、東京三菱銀行は、本年 2 月 8 日（火）、横浜市港北区日吉本町に「日吉駅前支店」を開設します。

◇ 白金地区および日吉地区は、すでにお取引をいただいているお客さまが多数お住まいのエリアながら、これまで MTFG グループの店舗はありませんでした。今回の新規開設により、お取引のあるお客さまも含めて同エリアにお住まい、お勤めのお客さまの資産運用やローンなどのニーズにきめ細かくお応えできるようになります。

◇ 白金地区に多数お住まいの資産運用ニーズの高いお客さまは、資産運用にとどまらず遺言や相続対策、資産承継など、幅広い相談のニーズを持たれています。こうしたお客さまにひとつの場所で総合的な金融サービスをご提供できるよう、「白金 MTFG プラザ」として開設します。

また、日吉地区は平成 19 年に横浜市営地下鉄の開通が予定されており、近隣の住宅開発も活発化しています。東京三菱銀行「日吉駅前支店」は、そういった日吉地区におけるお客さまの住宅ローンのニーズにスピーディーにお応えするため、住宅ローンサービスを専門的に取り扱いする「日吉ローンプラザ」を併設します。

◇ 今回開設する店舗は、いずれも、昨年 12 月に開設した「渋谷 MTFG プラザ」で展開したお客さまのセグメント別ニーズに応じたレイアウトとするとともに、同プラザの店舗デザインを担当した米国人建築家ニール・デナーリ氏を起用し、ブランド力のある住宅街にふさわしく、モダンな中にも高級感・落ち着いた感のあるデザインとしています。

なお、今後も東京三菱銀行「品川駅前支店」をお客さまのセグメント別ニーズに応じたレイアウトへ変更のうえ、ターミナル店舗にふさわしい明るくモダンなデザインにてリニューアルオープン（本年 2 月中を予定）するなど、お客さま一人ひとりのニーズに、よりきめ細かく適切にお応えし、最高のホスピタリティーサービスをご提供するレイアウトの店舗を拡大していきます。

- ◇ UFJ グループとの経営統合後の新グループにおいては、重複店舗の統廃合による効率化を行う一方、お取引のあるお客さまが多数在住されているにもかかわらず店舗ネットワークがない地域や、資産運用ニーズの高いお客さまが多数お住まいの地域、今後再開発が見込まれる地域など、金融サービスニーズが高いエリアには、新規出店を行っていく予定です。また、決済サービスの利便性を主に提供する店舗や資産運用・ローンのご相談を専門とする店舗など、お客さまの多様なニーズにお応えする店舗を展開していきます。

白金 MTFG プラザ

東京三菱銀行白金支店
三菱信託銀行信託プラザ白金

- ・ 開設日：平成 17 年 2 月 16 日（水）
- ・ 所在地：東京都港区白金台 4-8-7
（東京メトロ南北線・都営三田線 白金台駅前）

東京三菱銀行日吉駅前支店

- ・ 開設日：平成 17 年 2 月 8 日（火）
- ・ 所在地：神奈川県横浜市港北区日吉本町 1-1-6
（東横線 日吉駅西口）

以 上

（照会先）三菱東京フィナンシャル・グループ：広報 IR 室（03-3240-8136）
東 京 三 菱 銀 行：広 報 室（03-3240-2950）

米国証券取引委員会（SEC）への文書提出

株式会社三菱東京フィナンシャル・グループ（「MTFG」）は、株式会社UFJホールディングス（「UFJ」）とMTFGの経営統合に伴い、Form F-4による登録届出書を米国証券取引委員会（「SEC」：U.S. Securities and Exchange Commission）に提出する可能性があります。Form F-4を提出することになった場合、その内容には、目論見書（prospectus）及びその他の文書が含まれることとなります。Form F-4が提出され、その効力が発生した場合、UFJは、当該経営統合を承認するための投票が行われる予定である株主総会の実施日前に、Form F-4の一部として提出された目論見書とその米国株主各位に対して発送する予定です。Form F-4を提出することになった場合、提出されるForm F-4及び目論見書には、MTFGに関する情報、UFJに関する情報、本経営統合、及びその他の関連情報などの重要な情報が含まれることとなります。UFJの米国株主におかれましては、UFJ株主総会において本経営統合について決定なさる前に、本経営統合に関連してSECに対して提出される可能性のあるForm F-4、目論見書、及びその他の文書を注意してお読みになるようお願いいたします。Form F-4が提出された場合、Form F-4、目論見書、及びその他、本経営統合に関連してSECに提出される全ての文書は、提出後にSECのホームページ（www.sec.gov）にて無料で公開されます。なお、株主の皆様には、本経営統合に関連してSECに提出される目論見書及びその他全ての文書を無料にて配布させていただきます。配布のお申し込みは、お電話・お手紙・電子メールにて承ります。

MTFG 担当者:	UFJ担当者:
Mr. Hirotsugu Hayashi 〒100-6326 東京都千代田区丸の内2丁目4番1号 丸の内ビル26F 電話：81-3-3240-9059 メール：Hirotsugu_Hayashi@mtfg.co.jp	Mr. Shiro Ikushima 〒100-8114 東京都千代田区大手町1丁目1番1号 電話：81-3-3212-5458 メール：shiro_ikushima@ufj.co.jp

さらに、MTFGは、Form F-4（提出することになった場合）、目論見書、及びその他、本経営統合に関連してSECに提出する全ての文書に追加して、年次報告書（アニュアル・レポート）及びその他の情報をSECに提出することが義務づけられます。これらのSECに提出される報告書及びその他の情報等については、SEC内に設置されている公開閲覧室（public reference rooms 住所：450 Fifth Street, N.W., Washington, D.C. 20549）又はニューヨーク州ニューヨーク市・イリノイ州シカゴ市の公開閲覧室において閲覧・コピーが可能です。公開閲覧室に関する詳しい情報については、SECまでお電話にてお問い合わせ下さるようお願いいたします。（電話番号：1-800-SEC-0330）なお、SECに提出された文書は、SECのホームページ（www.sec.gov）又は民間の文書検索サービスを通して入手可能です。

将来の見通しに関する記述

本書には、MTFG、UFJ、及び本経営統合完了後の事業についての将来の見通しに関する情報及び記述が含まれています。将来の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述を意味します。こうした記述には財政状態に関する見通し及び予測（financial projections and estimates）及びその前提、将来の事業・製品・サービス等に関する計画・目的・期待に関する記述、並びに将来のパフォーマンスに関する記述が含まれます。将来の見通しに関する記述は、一般に、期待する（"expect,"）予想する（"anticipates,"）考える（"believes"）、意図する（"intends,"）、予測する（"estimates"）又はその他これに類似した表現により特定されます。MTFG及びUFJの経営陣は、そうした将来の見通しに関する記述に反映されている期待は合理的なものであると考えますが、将来の見通しに関する情報及び記述は、様々なリスクや不確実要素により影響を受ける事にご注意下さい。その多くは予測困難かつMTFG及びUFJの統御を越えたものである為、将来の見通しに関する記述の中で言及・示唆・予測されている情報及び記述は、実際の結果や状態と大きく異なる可能性があります。かかるリスクと不確実要素には、MTFGがSECに提出する可能性があるForm F-4登録届出書に含まれる目論見書の"Cautionary Statement Concerning Forward-Looking Statements"（将来の見通しに関する記述についての注意事項）及び"Risk Factors"（リスク要因）の項に列挙されたもの等を含めて、MTFG及びUFJがSEC又はその他の現地当局へ公式に提出した文書中で検討又は指摘されている事項が含まれます。MTFG及びUFJは、適用法により義務付けられている場合を除き、将来の見通しに関するいかなる情報及び記述もそれを更新又は改定する義務を一切負わないものとします。